

幹 事 会 議 事 録

## 平成21年度 第1回幹事会 議事録

日時 : 平成21年4月17日(金) 13:30~14:30

場所 : 愛知工業大学 本山キャンパス

出席者: 久保(名城大), 後藤, 永田(名工大), 北根(名大), 鈴木(愛工大), 川西(豊高専), 加藤(中日本C), 鷲見(八千代E), 原田(創建), 山田, 水野, 高橋(日車), 織田, 中川, 松村(瀧上) 15名(敬称略)

### < 幹事会議事内容 >

#### 1. 平成21年度 代表, 幹事について

以下のメンバーにて承認された.

代表	後藤 芳顯(名古屋工業大学)
幹事長	織田 博孝(瀧上工業)
事務局担当	松村 寿男, (中川 賢治)(瀧上工業)
会計担当	加藤 幸男, (佐藤 徹也)(中日本建設コンサルト)
会計監査	葛 漢彬(名城大学)
企画担当	水野 剛規(日本車輛製造)
研究会担当	小塩 達也(名城大学)
	川西 直樹(豊田工業高等専門学校)
	北根 安雄(名古屋大学)
	鈴木 森晶(愛知工業大学)
	永田 和寿(名古屋工業大学)
	酒造 敏廣(大同工業大学)
HP担当	原田 敏行(創建)

#### 2. 平成21年度 S G S T 活動計画

定期研究会の開催場所は昨年度に引き続き愛知工業大学 本山キャンパスとすることとした 鈴木担当に年間を通した使用日を予約して頂いた. 会場については, 青木元代表のご配慮により無料となった. 研究会の開催日は以下のように決定した.

H21年度:(愛工大 本山キャンパス)

第1回 4/17(金) 2F ホール(懇親会)

第2回 6/26(金) 2F ホール

第3回 8/21(金) 3F 講義室(懇親会)

第4回 10/23(金) 2F ホール

第5回 12/18(金) 2F ホール(忘年会)

第6回 2/19(金) 2F ホール

H22年度は未定.

次回以降の定期研究会については, 委員各位にテーマについてのアンケートを取るとともに, 過去の講演内容(3年分程度)を確認し, 後藤代表と織田幹事長で講演テーマの方向性を決定する. 基本的に研究会担当幹事が講演者への依頼および当日の段取りを行う. 学識経験者に限らず, 例えば, 橋建中部事務所等の団体から講師を招くことも検討する.

なお, 6/26の定期研究会は, 小塩研究会担当より「診断関連のコンサルタント: BMC(ピーエムシー)阿部氏「鉄道橋の維持管理業務に関する話題」(70分程度), JR 石川氏「応力聴診器による応力測定」(20分程度)の提案あり.

### 3. 総会・定期研究会について

当日は以下のスケジュール，内容で行うことが承認された．

- 1) 総会 15:00～16:00 (議事内容は別紙の総会議事参照)  
代表挨拶  
平成20年度の活動報告 (SGST活動報告，研究委員会報告)  
平成20年度会計報告 (会計監査担当が報告)

旧幹事 新幹事

-----  
新年度役員紹介  
新代表挨拶  
平成21年度定期研究会開催予定について  
平成21年度研究委員会について

- 2) 定期研究会 16:00～17:30 (講演1時間，質疑応答30分)  
講演題目：「長スパン対応の複合橋梁の開発と限界状態設計法」  
講師：長岡技術科学大学 教授 長井正嗣 先生
- 3) 懇親会  
場所：「坐・和民 本店」  
会費：4000円 (講演者は対象外)

### 4. 研究委員会について

- 1) 「道路橋示方書の背景」，「高力ボルトの多列配置に関する検証」の研究委員会は前年度で終了となった．資料の取りまとめ，成果報告は下記とする．  
「道路橋示方書の背景」・・・資料整理，HP上で会員のみに限定公開とする．公開の旨を会員各位にメール連絡する．  
「高力ボルトの多列配置に関する検証」・・・文献を整理し，まとめる．
- 2) 新規委員会の立ち上げについて  
・「道路橋示方書の背景」は将来の示方書改訂を睨み，継続も選択枝に含める．  
・新規委員会の募集 (アンケート) を行い，検討する．

### 5. 平成20年度SGST会計報告

<平成20年4月1日～平成21年3月31日>

【収入】 昨年度繰越金： 4,945,768円  
会費徴収： 486,000円 (法人13団体分390,000円)

-----  
合 計： 5,431,768円

【支出】 支出合計： 476,668円 (昨年度は見学会を2回開催．見学会1回/2年)

-----  
次年度繰越金： 4,955,100円

### 6. 平成20年度活動報告集

平成20年度活動報告集は 総会にて会員の方に配布する 欠席者には後日 事務局より郵送する．

次回予定：6月26日(金) 愛知工業大学 本山キャンパス 14:30～15:50 幹事会 (研究会相談)  
(定期研究会 16:00～17:30)

以上//

## 平成21年度 第2回幹事会 議事録

日時 : 平成21年6月26日(金) 14:10~15:40

場所 : 愛知工業大学 本山キャンパス

出席者: 後藤, 永田(名工大), 北根(名大), 鈴木(愛工大), 川西(豊高専), 加藤, 佐藤(中日本C), 原田(創建), 神頭(日車), 織田, 中川, 松村(瀧上) 12名(敬称略)

### <幹事会議事内容>

#### 1. 平成21年度 S G S T活動計画

##### アンケート集計結果を踏まえた討議

##### 1)定期研究会について

- ・その他アンケート結果における「発注者の悩み~設計会社への要望」を採用したらどうか。総論的なテーマを海洋架橋、保全センター、名公社、nexco 中日本等に依頼の案あり。
- ・鋼構造分野の将来展望、全般的な方向性のテーマはどうか。橋建協でふさわしい人物はいないか。 織田幹事長検討。
- ・総論と各論を混ぜて1回の研究会を行ったらどうか。(総論のみでは面白くないかもしれない。)
- ・取り急ぎ8月の研究テーマを決めなければならない。愛知県の事業計画、アセットマネジメント等について、発表になれており、本会会員である愛知県・中野氏に依頼したらどうか。  
鈴木担当幹事より研究会後、中野氏に依頼。本人は都合が悪いため、愛知県の他の方に依頼してみるとのこと。決定後、SGST より講演内容について正式依頼をする。(7/3 知多建設事務所 都市施設整備課 小野口課長補佐に決定:「発注者側の悩み、施工会社、設計会社への要望」の他に県道半田常滑線の事業について講演をさせていただければとのこと。)
- ・「橋梁付属物」の製作メーカーからの維持管理のテーマについて、川金コアテックに依頼してみてもどうか。
- ・本四高速の方への講師依頼 10月以降、川西担当幹事よりお願いしてみる。
- ・KABSE との交流をしているが、講師を招いたらどうか。 担当幹事にて検討
- ・年間のスケジュールと担当幹事は下記に決定した。

- 第1回 4/17(金)2F ホール(懇親会) - 後藤代表(長岡技術科学大学 長井教授)
- 第2回 6/26(金)2F ホール - 小塩担当幹事(BMC(ピーエムシー)阿部氏)
- 第3回 8/21(金)3F 講義室(懇親会) - 鈴木担当幹事(愛知県 or 川金コアテック)
- 第4回 10/23(金)2F ホール - 川西担当幹事(本四高速)
- 第5回 12/18(金)2F ホール(忘年会) - 永田担当幹事(未定)
- 第6回 2/19(金)2F ホール - 北根担当幹事(未定)

##### 2)新規ワーキンググループについて

- ・ご意見を頂いた方に、リーダー候補になってもらい、起案書(書式等自由)および研究計画(補助金を出す場合)を書いてもらい、ある程度の人数と見通しが可能か問い合わせしてみる。
- ・幹事会として、メンバーをバックアップしてWGを盛り上げる。事務局で案を作成し、幹事 or 代表経由でお願いする。(以上 事務局 代表・幹事長経由か )
- ・「道路橋示方書の背景」WGの報告書(山田前幹事長)の報告書ができた時点でHPに掲載する。神頭担当幹事より山田前幹事長に確認する。

### 3)見学会希望先募集について

- ・今年山田先生の案に賛同し、木曾川・揖斐長良大橋上り線の補修・補強工事を見学したい。(神頭担当幹事に企画をお願いする。当日はバスのみチャーターで昼食は各自か。)
- ・他にも、永田先生より nexco 中のハイピアー現場見学の提案あり。

## 2. 平成 21 年度 S G S T 活動計画

- ・次回も定期研究会、WG についても議論する。
- ・次回 8 月は、暑気払い(懇親会)を行う。

## 3. 入会・脱会情報、運営の規約等について

- ・SGST 入会促進に関して、定期研究会の 1 回の視聴等の営業活動をしたらどうか。(事務局)

1 回の無料聴講を了承。2 回目から会員になってもらうよう依頼する。営業活動の際には、昨年の活動報告書を進呈し、積極的な入会を依頼する。

- ・山田先生より国交省知人に参加の打診をしたが、資料有料の話で参加できないとの連絡あり。

上記同様に「個人会員」として参加頂けるよう働きかける。その旨、山田先生に報告する。(事務局)

- ・定期研究会講演者に対しての当日講演後の「お礼会」への費用負担についての討議。

「お礼会」への費用負担(案)について

意見(1)

1. 原則、講演者・依頼者分の合計で、2 万円を上限として補助する。
2. 講演者・依頼者の一人当たりの支払い目安は 3,000 円とし、講演者は無料とする。

意見(2)

1. 基本的に会費は事前案内とする。これまでは、4000 円で案内を行い、実際会場で集めるのも 4000 円。4000 円を超える金額については、これまで SGST 負担で 2~3 万円程度。
2. 意見(1)の方法では、事前案内より多くの金額の請求になる印象を与えないか。また、3000 円程度と案内して、清算時に別途金額を算出してその場で集めるのは、事務的にも混乱をきたし、正しく処理ができない可能性もあり。
3. 従来どおり、4000 円もしくは、3000 円徴収で、残りを SGST が支払う(SGST 負担に上限は設けない)方が良い。

取り急ぎ 6/26 の講演会においては、2 万円を SGST が負担し、担当幹事に負担調整をお願いした。次回の幹事会で S G S T 講演費・旅費・宿泊費規定について、再度討議とする。(7/20 議事録修正)

## 4. 定期研究会について

- ・以下を確認した。

講演者：16:00~17:20 阿部 允 (あべ まこと) 氏 (株式会社 BMC (鉄道総研グループ))

17:20~17:30 石川 達也 氏 (JR 東海 静岡構造物検査センター)

講演項目：「やりくりのアセットマネジメント(予防保全はこうして実現する)」

：「東海道新幹線の鋼桁検査の現場事例紹介」

次回予定：8 月 21 日(金) 愛知工業大学 本山キャンパス 14:40~15:40 幹事会

(定期研究会 16:00~17:30)

以上//

平成21年6月19日

S G S T 事務局

アンケート結果（2次集計 6/19 迄）

## 1. 新規ワーキンググループテーマの募集

(1) 「道路橋示方書の背景」は将来の示方書改訂を睨み、継続 WG も検討中です。小委員会に参加されていなかった方でも、小委員会の資料を参考に特に掘り下げて研究したいテーマを募集いたします。

- ・鋼橋の補修・補強設計の際の道路橋示方書の見方、現地の事情に合わせたローカルルールのお考え方、など
- ・示方書の改訂について、改訂内容の情報が入手可能であるなら、それらの内容についての勉強会
- ・4年継続したこと、近年中に同示の改定があることなどから、打ち切るか、違った形での継続がよろしいのではないのでしょうか。

(2) その他コスト縮減につながる道示規定の見直しや維持管理についてなど、普段気になっている問題、今後の鋼構造業界の発展に向けて研究したいテーマを募集いたします。

- ・鋼橋も含む構造物の耐震解析や耐震設計技術の動向を知りたい。
- ・最近の土木や建築の免震構造事例を知りたい。
- ・支点部以外での常時集中荷重が載荷されないような部材や引張応力を受ける部材（例：ジャッキ補剛材、落橋防止ブラケットなど）に用いられている完全溶け込み溶接の部分溶け込み溶接化（常時引張力を受けない箇所による部分溶け込み溶接継手の性能確認など）を実施する場合の問題点および、施工裏づけ資料の作成
- ・床組部材等疲労計算を行うことが困難な疲労計算方法の提案（通常の解析で応力振幅が確認出来ない部位の疲労評価・溶接検査基準のお考え方）
- ・疲労設計指針に掲載されている「使用しない方がよい継手（ハッチング箇所）」箇所についての使用可能な条件の検討

## 2. 研究会テーマ募集

(1) 維持管理に関するテーマ

- ・橋梁付属物(支承、伸縮装置、排水装置)の製作メーカーから推奨の維持管理方法について紹介してほしい。(付属物の使用限界状態と維持管理法)
- ・溶接を用いた現場での亀裂補修の品質管理法について紹介してほしい。

- ・接着による補修・補強の耐久・耐荷力性能の保証の考え方
- ・鋼橋の補修・補強設計におけるローカルルール of 考え方，道路橋示方書との関係
- ・橋梁の点検・維持管理の現状および問題点：補修・補強事例
- ・補修方法の実例と、その設計方法の紹介をして欲しいです。
- ・

#### ( 2 ) 耐震・制震・免震技術に関するテーマ

- ・最近の土木や建築の免震構造事例を知りたい。(特に長期信頼性保証について)
- ・耐震・制震・免震技術を用いた既存構造物の耐震補強例：さまざまな技術の比較
- ・東海地震に関する地震波の想定と被害予想を知りたい。

#### ( 3 ) 新技術・新材料に関するテーマ

- ・橋梁損傷の定量的な新しい点検技術について知りたい
- ・点検及び補修用の作業足場に関する新しい方法について知りたい。
- ・非破壊検査に関する新技術
- ・高強度鋼材、高強度ボルトの使用実績と建築業界の動向を知りたい。

#### ( 4 ) その他 ( 自由 )

- ・橋梁における維持管理段階の耐荷性能をどのように考えるか
- ・「発注者側の悩み、施工会社、設計会社への要望」について、国交省、自治体、高速道路会社、公社をシリーズで開催してはいかがでしょうか？
- ・橋梁に関して、環境に関する取り組みを知りたい。

### 3 . 見学会希望先募集

- ・大規模な橋梁補修工事現場
- ・老朽化橋梁の耐荷力実験
- ・情報ですが、木曾川大橋，揖斐長良大橋の上り線の補修・補強工事が，秋ごろから動きます。
- ・補修・補強工事：防食工の補修・補強工事
- ・下部工、基礎工などのコンクリート施工現場を見学したいです。

以上

## 平成21年度 第3回幹事会 議事録

日時 : 平成21年8月21日(金) 14:40~15:40

場所 : 愛知工業大学 本山キャンパス

出席者: 後藤, 永田(名工大), 北根(名大), 鈴木(愛工大), 小塩(名城大), 加藤, 佐藤(中日本C), 吉嶺(日車), 織田, 加藤, 松村(瀧上) 11名(敬称略)

### <幹事会議事内容>

#### 1. 平成21年度 S G S T活動計画

##### 1)定期研究会について(続き)

- ・12/18 研究会:今年度未定の研究会については、耐震関連 or 橋建企画委員会(中島専務理事)を検討したらどうか。 永田担当幹事にて検討する。
- ・10/23 研究会:本四高速の方への講師依頼 本四高速道路株式会社 長大橋技術センター 耐風・耐震グループリーダー 福永勸(ふくながすすむ)様にて依頼・了承済(川西担当幹事)。
- ・2/19 研究会:KABSE 講師の交流 「鋼橋に関する維持管理(沖縄)」と題して九州大学・貝沼先生に依頼・了承済(北根担当幹事)。
- ・年間のスケジュール(残り)の確認。

第4回 10/23(金)2F ホール - 川西担当幹事(本四高速・福永氏)

第5回 12/18(金)2F ホール(忘年会) - 永田担当幹事(未定)

第6回 2/19(金)2F ホール - 北根担当幹事(九州大・貝沼先生)

##### 2)新規ワーキンググループ(WG)について

- ・これまでの示方書 WG の進め方は。 全体で分からない箇所のアンケートを募集し、分かる人が回答した。
- ・示方書に記載されていない事例はどのように実務で対応しているか(いわゆるローカルルールの考え方) 示方書に準拠できれば従うが、できない場合はモデル化、荷重も現地に合わせた対応で独自に判断している。
- ・新示方書に対応するWGは。 cf.部分安全係数法。よく知っている人に「一般論」としての勉強会という位置付けではよいが、示方書改訂WGとして活動するには難しい。
- ・WG活動の対象として、研究WGのような少人数特定の会員、限られた情報でのWGよりも、より多くの会員の方が参加でき、実用的な勉強会WGとした方がよいのでは。 幹事各位の賛成を得た。
- ・これまでの示方書 WG を踏まえ、新規テーマについての再検討 山田先生のアンケートご意見「鋼橋の補修・補強設計の際の道路橋示方書の見方、現地の事情に合わせたローカルルールの考え方」を踏襲し、青木先生アンケートご意見の「耐震関連」のテーマも盛り込んだ新規WGとすれば、耐震と維持管理を融合させたテーマのWG 発足が可能。 本方針を概ね幹事会として了承。織田幹事長より青木先生に新規WG 委員長を打診後、「起案書」、「研究計画書」を事務局に提出して頂く。次回幹事会(10/23)にて討議後、WG活動を開始する。

##### 3)見学会希望先募集について

- ・木曾川・揖斐長良大橋上り線の補修・補強工事の見学会。(吉嶺企画担当幹事)  
山田先生に工事の最適見学時期のヒアリング(事務局・幹事長)

## 2. 入会・脱会情報、運営の規約等について

- ・定期研究会後の「お礼会」と「懇親会（忘年会含む）」のSGST費用負担について、SGST規約の改定をする。

### 1) 定期研究会後の「お礼会」(懇親会対象日以外)への費用負担

- ・原則、講演者・依頼者分の合計で、2万円程度を補助する。
- ・上記は 講演者+依頼者(合計4名を想定)×5,000円(実施時期の相場・会場に合わせる。)=20,000円の試算。なお、講演者は無料とする。依頼者の負担を補助により軽減。担当幹事にて良識の範囲内で判断する。

### 2) 定期研究会後の「懇親会」への費用負担

- ・「会費徴収」の旨を連絡し、当日会場で4000円程度/人(会場に依存)の徴収を行う。店の予約時に1名あたりの金額を聞き調整する。会費に対しては事前連絡が望ましいが、参加者が不明確な場合も多く「会費徴収」の連絡のみで対応してもよいとする。
- ・講演者は無料、依頼者の負担軽減および会員の費用補助として、SGSTとして3万円程度を目安に補助する。代表・幹事長 or 会計幹事において良識の範囲内で判断する。

## 3. 定期研究会について

- ・以下を確認した。

講演者：16:00～17:30 小野口氏、中垣氏、野村氏(愛知県 知多建設事務所 都市施設整備課)

講演項目：「発注者の悩み・施工設計会社への要望」

次回予定：10月23日(金) 愛知工業大学 本山キャンパス 14:40～15:40 幹事会

(定期研究会 16:00～17:30)

以上//

## 平成21年度 第4回幹事会 議事録

日時 : 平成21年10月23日(金) 14:40~15:40

場所 : 愛知工業大学 本山キャンパス

出席者: 後藤, 永田(名工大), 吉嶺(日車), 川西(豊田高専), 原田(創建), 織田, 加藤, 松村(瀧上) 8名(敬称略)

### <幹事会議事内容>

#### 1. 平成21年度 S G S T活動計画

##### 1)新規ワーキンググループ(WG)について

- ・織田幹事長より「起案書」を受領。次回定期研究会までに事務局より会員に「起案書」をメールし、メンバーを募集。その後 WG 活動を開始する。幹事会社、法人会員の他、大学、メーカー、コンサルタントの若手技術者を中心に委員になってもらう。
- ・WG 活動は定期研究会の日の幹事会前に予定。WG 13:00-14:30、幹事会 14:40-15:40、定期研究会 16:00-17:30 のスケジュールで行う。活動開始は2月の定期研究会日を予定。
- ・活動方針は織田委員長に依存する。委員の中で補修・補強工事の事例の収集を行い、その中からある工事を対象としたケーススタディーにより行う。
- ・道路橋示方書 WG の報告書は、山田旧幹事より年度内を目途に作成するとのこと。作成後 HP にアップする予定。

##### 2)定期研究会について(続き)

- ・12/11 研究会: 社団法人日本橋梁建設協会の副会長・専務理事 中島専務理事(永田担当幹事) 後藤代表より講師へ依頼済。10/29(木)橋建協にて中島様にスケジュール等の説明を行った(松村)。なお、当日は忘年会も予定(吉嶺企画担当幹事)。
- ・2/19 研究会: KABSE 交流「鋼橋に関する維持管理(沖縄)」九州大学・貝沼先生(北根担当幹事) 発表概要受領済。
- ・最近の定期研究会の出席者減少もあり、次回の定期研究会は S G S T の営業活動の一環として、無料講習会とし活動報告書を配り、個人会員の拡大を図る。国土交通省の方にも声をかけてもらう。中島副会長は国土交通省 OB の為、集まるのではないかと。
- ・個人会員の会費(2,000 円)の安さを鑑み、今後は定期研究会出席者にテキスト代としていくらか徴収したらどうか。会費の安さで参加している個人会員もあり、S G S T の貯蓄額が多すぎてもいけないため、慎重に対応すべき。(懸案事項)無料講習会を年1回位行ったらどうか。
- ・個人会員拡大のために、CPDS 認定講習会(1ヶ月前に概要・スケジュール案内)として登録したらどうか。土木施工管理技士会、土木学会共に、認定講習会として1万円がかかるため過去に止めた経緯あり。法人会員の CPDS 取得目的の出席者が増えるのではないかと。
- ・土木学会と S G S T 協賛開催にすれば認定講習会の登録費の削減ができるのではないかと。

##### 3)見学会希望先募集について

- ・木曾川・揖斐長良大橋上り線の補修・補強工事の見学会。(吉嶺企画担当幹事)

10/16(金)第8坂下橋、木曾川上り線の補強工事の見学を無事終えたことを報告。活動報告書にまとめて報告する。学生の参加者が40名中30名と多数を占めたが、S G S T として有意義な交流ができた。S G S T 会員は平日の開催もあり、参加者は少なかった。来年も見学会を行う。

2. 運営の規約等について

- ・定期研究会後の「お礼会」と「懇親会（忘年会含む）」の SGST 費用負担について承認された。SGST 規約の改定版を作成する。

3. 定期研究会について

- ・以下を確認した。

講演者：16:00～17:30 福永 勸氏（本州四国連絡高速道路株式会社長大橋技術センター耐風・耐震グループリーダー）

講演項目：「長大橋に関する話題」

次回予定：12月11日(金) 愛知工業大学 本山キャンパス 14:40～15:40 幹事会

(定期研究会 16:00～17:30)

以上//

平成 21年 10月 23日

東海構造研究グループ代表  
後藤 芳顯 殿

## SGST 研究委員会 起案書

起案者氏名 織田 博孝  
所属機関 瀧上工業(株)

下記の通り、SGST 研究委員会(ワーキンググループ)を立ち上げたく、起案書を提出します。

研究委員会名： 補修・補強設計の合理化研究委員会

研究趣旨：

鋼橋の新設は全国でほぼ一律の基準に従って設計・施工される。一律の基準に従うのは所定の安全水準を確保するためであり、設計手法は誰もが対応できるように安全側にほぼ標準化されている。また、長年の鋼橋の供用環境は、設計時に一定の条件で想定せざるを得ないという意味もあると思われる。

一方、供用中の橋は現実の多様な条件の下にあり、橋の補修・補強は一律の基準に従うと過大あるいは不足になる可能性がある。また、現地条件によっては工事の施工方法に、新設とは異なる制約が生じる。したがって、補修・補強の設計は個々の現実の条件に合わせて行うのが合理的と思われる。

そこで、この研究委員会では現行の設計基準からフリーとして、補修・補強設計の合理化を検討する。課題は次の3点が考えられる。

荷重(現実の交通、サイトの想定地震動)の違い、および荷重変更の効果

作用解析モデル・強度解析モデルの精密化、およびモデル変更の効果

工事施工性への配慮、およびコストへの配慮あるいは削減効果(解析コストも含む)

研究の進め方は、過去の補修・補強事例を元に、現行基準にとらわれず自由な発想により、補修・補強設計合理化のケーススタディーを実施する。補修・補強事例の選定は、耐震補強、荷重増加に対する補強、拡幅、腐食・疲労に対する補修・補強など、鋼橋のすべてを含める。時間・費用とも制約があるため、研究成果は明確な結論が出なくても、今後の研究の端緒になればよいと考えている。

また、地方分権が求められている最近の状況があり、各地方の要請に応じた補修・補強を実現することが、今後の課題になる可能性もある。

## 平成21年度 第5回幹事会 議事録

日時 : 平成21年12月11日(金) 14:40~15:40

場所 : 愛知工業大学 本山キャンパス

出席者: 後藤(名工大), 小塩(名城大), 川西(豊田工専), 神頭(日車), 加藤(中日本C), 織田, 松村(瀧上)7名(敬称略)

### < 幹事会議事内容 >

#### 1. 平成21年度 S G S T活動計画

##### 1) 「補修・補強設計の合理化研究委員会」(WG)について

・8名(委員長除く)の委員で開始する。

##### 2) 定期研究会について

・2/19研究会: KABSE 交流「鋼橋に関する維持管理(沖縄)」九州大学・貝沼先生(北根担当幹事) 発表概要受領済。

・第6回は来年度のスケジュールも概ね決定の必要あり。総会(4月度)の開催日決定のこと。

・CPDS 認定講習会(1ヶ月前に概要・スケジュール案内)としての登録について 土木学会認定講習会として9,000円/回を申請する。第6回(2月)にて試行する。正規運用は次年度より。法人会員のCPDS 取得目的の出席者の制限を検討する。(制限人数決定に至らず)

#### 2. 第5回定期研究会

・以下を確認した。

講演者: 16:00~17:30 中島威夫 氏(社団法人 日本橋梁建設協会 副会長 兼 専務理事)

講演項目: 社会資本をめぐる議論

次回予定: 2010年2月19日(金) 愛知工業大学 本山キャンパス 14:40~15:40 幹事会

(定期研究会 16:00~17:30)

以上//

## 平成21年度 第6回幹事会 議事録

日時 : 平成22年2月19日(金) 15:10~15:45

場所 : 愛知工業大学 本山キャンパス

出席者: 後藤, 永田(名工大), 北根(名大), 鈴木(愛工大) 小塩(名城大), 吉嶺(日車), 原田(創建), 加藤(中日本C), 織田, 松村(瀧上) 10名(敬称略)

### < 幹事会議事内容 >

#### 1. 平成22年度 SGST活動計画

- 1) 平成22年度第1回~第6回のスケジュールおよび会場の決定: 第1回(4月:総会) 第2回(6月) 第3回(8月:暑気払) 第4回(10月) 第5回(12月:忘年会) 第6回(2月)
  - ・第1回(4月:総会)は東大・藤野先生を候補としたい。(後藤代表)
  - ・H22年度の愛知工業大学(本山キャンパス)会場は、授業日との調整が必要。H22年度第1回は4/12-23の利用は可能。4/14(水)、21(水)について愛知工大サテライト、名城大会場の空き状況の確認および講師候補(東大・藤野先生)との日程調整を行う。

#### 2) 定期研究会の話題について

- ・H21年度は参加者が少ない定期研究会があった。参加者を増やすことが課題である。
- ・テーマ選定はH21アンケート結果を再度確認する必要あり。H22.4幹事会で再討議。
- ・維持管理、補修・補強関連のテーマを細分化して、具体的なキーワードにて討議する必要があるか。(防食、耐震等) H21年度は耐震のテーマが少なかった。海外プロジェクト等はどうか。
- ・テーマよりも講師の知名度により参加が増えるか。
- ・懇親会のない日に参加者が減る傾向にある。第2、4回(10月)の参加者が少ない傾向。
- ・参加者が少ないと予測される上記定期研究会日程において、イブニングセミナー、シンポジウムの開催等を企画するか。現場見学会と絡めるのはどうか。(移動の調整が難しいか)
- ・SGST主催で土木学会中部支部 or 橋建協等とシンポジウム共催の企画をするか。企画するのであれば、シンポジウムのテーマ選定が必要。H15の25周年のテーマは「土木構造物と環境」。

#### 2. CPD認定講習会について

- ・CPDS 認定講習会として次年度より本格運用。法人会員のCPDS取得目的の出席者数は現時点では制限しないこととする。

#### 3. 平成21年度活動報告集について

- ・挨拶(後藤代表)は3月中を目途にご執筆頂く。
- ・SGSTの組織、運営、総会議事録に加えて、幹事会の議事録も報告書に加える。
- ・現場見学会は資料の添付と報告書1枚程度とする。写真撮影を依頼したご担当にデータをご送付頂き事務局にてまとめる。
- ・事務局にて初案完成後、幹事会にて確認頂く。(誤字・脱字程度)
- ・3月後半には印刷開始予定。印刷業者、部数等は事務局にて判断する。H22.4総会にて配布予定。

#### 4. 会員の入退会の連絡について

- ・2年間の会費未納の会員には会費納入への催促ならびに入退会の意思確認を行う。
- ・メールの音信不通者については、連絡が取れない場合は名簿より削除の方針で検討。
- ・名誉会員(理事、幹事長経験者等、SGST貢献者)の名簿削除は保留としたい。

#### 5. 第6回定期研究会

- ・KABSE 交流「鋼橋に関する維持管理(沖縄)」九州大学・貝沼先生(北根担当幹事)(土木学会認定講習会、認定番号:JSCE09-0800)

次回予定: 2010年4月中旬 総会および定期研究会(16:00~17:30)

以上//

土木学会 継続教育(CPD)プログラム認定 通知書

東海構造研究グループ(SGST)

御中

(社)土木学会 技術推進機構  
機構長 片山 功三



通知日	2010/1/19
認定番号	JSCE09-0800

申請のありました下記プログラムについて、認定審査結果を通知いたします。

プログラム名	「鋼道路橋における腐食損傷と防食技術の課題」
開催日	2010年2月19日
単位数	1.5 単位

本会の継続教育(CPD)プログラムとして認定いたします。

ご希望には添えません。

(理由: